

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 エフピコ

コード番号 7947 URL <http://www.fpco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 守正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部本部長 (氏名) 瀧崎 俊男

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 084-953-1145

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	97,481	△3.2	10,413	34.3	10,669	32.7	6,239	29.2
21年3月期第3四半期	100,732	—	7,752	—	8,041	—	4,829	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	298.77	—
21年3月期第3四半期	230.55	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	147,574	58,857	39.8	2,814.90
21年3月期	138,791	54,248	39.0	2,594.40

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 58,787百万円 21年3月期 54,183百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	33.00	—	43.00	76.00
22年3月期	—	50.00	—		
22年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	△1.7	11,800	28.4	12,000	29.0	6,950	31.1	332.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	22,142,106株	21年3月期	22,142,106株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,257,848株	21年3月期	1,257,341株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	20,883,900株	21年3月期第3四半期	20,948,402株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

#### 当期の経営成績

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	増減額	前期比(%)
製品	76,654	75,961	△693	99.1
商品	24,077	21,519	△2,558	89.4
売上高合計(百万円)	100,732	97,481	△3,251	96.8
経常利益(百万円)	8,041	10,669	2,627	132.7
四半期純利益(百万円)	4,829	6,239	1,409	129.2
1株当たり四半期純利益	230円55銭	298円77銭	68円22銭	129.6

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の在庫調整の進展などから、一部で持ち直しの動きが見られるものの、雇用情勢の悪化や家計収入の減少、デフレの進行など、依然として厳しい状態で推移しました。

当業界の販売先である食品小売業界におきましては、消費の冷え込みに伴う外食から中食・内食へのシフトの動きによるプラス要因があったものの、販売個数の減少、販売単価の下落などにより、非常に厳しい状態が続いております。一方、原材料価格は当第2四半期より値上がりし、原材料コストの上昇が利益圧迫要因となっております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、コスト改善が進んだことに加え販売数量の増加により、過去最高益となりました。

販売面におきましては、製品販売数量は、汎用製品及び軽量化製品の拡販により前年同期比104.1%と増加したものの、製品売上高は、原材料価格の値下がりに伴い製品価格の値下げを実施したことにより前年同期比で微減となりました。一方、商品売上高は、不採算取引の見直しが進んだため、前年同期を下回りました。この結果、売上高は974億81百万円、前年同期比32億51百万円の減収となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間には、販売用動産の売却による一過性の商品売上高13億33百万円が含まれており、これを勘案した実質的な売上高は前年同期比19億18百万円（前年同期比98.1%）の微減になります。

利益面におきましては、前第4四半期より値下がりした原材料価格は、当第2四半期より再度値上がりに転じております。当第3四半期連結累計期間の原材料コストの増減による利益への影響は、前年同期比30億円の改善となり、これに対しては製品価格の値下げを実施しております。他方、製品販売数量の増加及び製品の軽量化・素材切替が進んだこと、更には生産及び物流を始めとしたグループ全体でのコスト改善への取組みが順調に推移したことなどによる利益改善は40億円となり、経費の増加9億67百万円を吸収し、当第3四半期連結累計期間の経常利益は106億69百万円、前年同期比26億27百万円の増益となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間の販売用動産の売却による一過性の経常利益4億5百万円を勘案しますと、前年同期比30億32百万円の増益となります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、1,475億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ87億82百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金99億63百万円増加、中部ピッキングセンター用地取得等を含む有形固定資産14億53百万円の増加、他方、現金及び預金35億41百万円の減少、たな卸資産8億96百万円の減少によるものであります。

負債合計は887億17百万円となり前連結会計年度末に比べ41億73百万円増加いたしました。これは主に、買掛金38億33百万円の増加、コマーシャル・ペーパー100億円及び長期借入金16億37百万円の増加、他方、短期借入金117億49百万円の減少によるものであります。

また、純資産合計は、588億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億9百万円増加いたしました。これは主に、当第3四半期純利益など利益剰余金42億97百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は、39.8%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より35億41百万円減少し、125億66百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、86億50百万円（前年同期は22億57百万円の資金獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益105億18百万円と減価償却費62億27百万円及びたな卸資産8億96百万円の減少などによる資金の増加、売上債権の増加98億89百万円及び法人税等の支払額47億9百万円などによる資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、配送センター及び工場の生産設備等固定資産の取得による支出66億37百万円などにより、76億67百万円（前年同期は57億76百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、リース債務の返済による支出25億34百万円及び配当金の支払額18億98百万円などにより、45億24百万円（前年同期は77億65百万円の資金獲得）となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期は、引き続き国内経済の停滞が続くことにより、消費は冷え込みが続くと予想される一方、当社製品の原材料価格は上昇に転じております。しかしながら、当社グループは、製品販売数量の拡大、製品の軽量化・素材切替への一層の取り組み、生産・物流はもとより管理部門も含めたグループ全体でのコスト改善など、利益改善策を推し進めてまいります。

平成21年11月5日公表の業績予想に変更はありません。

## 4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,566	16,108
受取手形及び売掛金	35,823	25,860
販売用不動産	40	51
商品及び製品	10,151	10,912
仕掛品	39	21
原材料及び貯蔵品	1,171	1,313
その他	4,496	4,334
貸倒引当金	△108	△85
流動資産合計	64,180	58,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,349	29,603
機械装置及び運搬具（純額）	5,345	5,183
土地	24,010	22,865
リース資産（純額）	11,205	12,255
その他（純額）	4,887	3,435
有形固定資産合計	74,798	73,344
無形固定資産	1,329	1,284
投資その他の資産	7,266	5,646
固定資産合計	83,394	80,275
資産合計	147,574	138,791

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,578	13,744
短期借入金	18,734	30,484
コマーシャル・ペーパー	10,000	—
未払法人税等	2,960	2,814
賞与引当金	710	1,277
役員賞与引当金	57	73
その他	11,462	10,058
流動負債合計	61,504	58,453
固定負債		
長期借入金	15,940	14,303
退職給付引当金	1,462	1,371
役員退職慰労引当金	935	704
負ののれん	26	104
その他	8,848	9,605
固定負債合計	27,212	26,090
負債合計	88,717	84,543
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,150	13,150
資本剰余金	15,497	15,487
利益剰余金	33,551	29,254
自己株式	△3,904	△3,902
株主資本合計	58,295	53,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	492	192
評価・換算差額等合計	492	192
少数株主持分	70	64
純資産合計	58,857	54,248
負債純資産合計	147,574	138,791

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	100,732	97,481
売上原価	73,438	66,731
売上総利益	27,293	30,749
販売費及び一般管理費	19,540	20,336
営業利益	7,752	10,413
営業外収益		
受取利息	86	39
受取配当金	63	70
補助金収入	206	334
負ののれん償却額	78	78
その他	264	252
営業外収益合計	699	775
営業外費用		
支払利息	287	464
コマーシャル・ペーパー利息	51	8
その他	71	46
営業外費用合計	410	519
経常利益	8,041	10,669
特別利益		
固定資産売却益	5	9
貸倒引当金戻入額	49	—
賞与引当金戻入額	—	35
受取保険金	54	13
その他	1	0
特別利益合計	110	58
特別損失		
固定資産除売却損	71	121
投資有価証券評価損	51	8
関係会社株式評価損	44	—
減損損失	—	74
災害による損失	44	3
その他	10	0
特別損失合計	223	209
税金等調整前四半期純利益	7,929	10,518
法人税、住民税及び事業税	3,049	4,864
法人税等調整額	40	△598
法人税等合計	3,089	4,265
少数株主利益	9	13
四半期純利益	4,829	6,239

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,929	10,518
減価償却費	3,505	6,227
減損損失	—	74
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△496	△583
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31	△16
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△39	46
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13	230
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	90	91
投資有価証券評価損益 (△は益)	51	8
関係会社株式評価損	44	—
固定資産除売却損益 (△は益)	65	111
受取利息及び受取配当金	△150	△109
支払利息	339	472
受取保険金	△54	△13
災害損失	44	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,878	△9,889
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,855	896
未収入金の増減額 (△は増加)	522	109
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,828	3,806
その他	1,700	1,705
小計	4,340	13,691
利息及び配当金の受取額	150	109
利息の支払額	△326	△451
保険金の受取額	54	13
災害損失の支払額	△9	△3
法人税等の支払額	△1,952	△4,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,257	8,650
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,850	△6,637
無形固定資産の取得による支出	△516	△416
投資有価証券の取得による支出	△103	△361
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△170	△6
長期貸付けによる支出	△493	△1,447
長期貸付金の回収による収入	1,362	753
その他	△4	448
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,776	△7,667
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,800	△10,200
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△10,000	10,000
長期借入れによる収入	13,300	8,165
長期借入金の返済による支出	△7,314	△8,077
自己株式の取得による支出	△734	△2
リース債務の返済による支出	—	△2,534
配当金の支払額	△1,282	△1,898
少数株主への配当金の支払額	△2	△3
その他	0	26
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,765	△4,524
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,246	△3,541
現金及び現金同等物の期首残高	8,225	16,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,471	12,566



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社グループは、「簡易食品容器関連事業」を主たる事業としており、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める「簡易食品容器関連事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社グループは、本邦以外の国又は地域に存在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高は連結売上高の10%未満でありますので、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。